



The logo consists of four main graphic elements: a green arrow pointing to the right, a green cross-like shape, a large green circle, and a green asterisk-like shape. Each element has a yellow outline and a thin white border. The colors used are green, yellow, and white.



あけましておめでとうございます

第28号 contents

- 救急法講習会 _____ 2
 - つづじ寮生活介護棟増築 _____ 3
 - 施設だより(つづじ寮・サポートくすの木・わくわくワーク大塚)—— 4~9
 - 寄付物品及びボランティア _____ 10
編集後記

あやめ会	代表	飛田真弓
大岡恵津子	様	
大塚中学校	様	
大神巳鼓様		
小笠原明美	様	
岡本晴美様		
片岡理容様		
壁谷文子様		
蒲郡高等学校	様	
蒲郡東高等学校	様	
蒲郡マリンライオンズクラブ		
モラロジーボランティア		
着付け専科はな		
清真左会	代表	
小林英生様	代表	
桜井和穂様	代表	
佐野理容様	代表	
つくしんぼ遠山芽以様	代表	
安藤勇様	代表	
小林春代様	代表	

寄付者ご芳名

蒲郡マリンライオンズクラブ
丸正食肉店 様
丸福青果食料品店 様
洞田工務店 様
丸文魚店 様
手をつなぐ育成会 様
光明寺自動車 様
三州自動車 様
光田屋 様
杉本屋製菓 様
蒲郡市養護老人ホーム 様
つつじ寮保育園 様
つつじ寮保護者特別会 様

H23年6月～H23年11月

明石美幸 様
山田由紀子 様
ハラウフオカブアノホマーリエ 様
鈴木日菜 様
松尾紘次郎 様
細井里奈 様
松尾由紀子 様
丸富青果食料品店 様
寄付者ご芳名

尾星光蒲丸丸山明成長日小小泉林
崎越田郡正福青果松松鈴木由由
照化屋印刷肉食細井尾由紀子
成様所様料品奈里由紀子郎才子
様様品店様樣樣樣樣樣樣樣樣
様様品店樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣

豊橋中央高等学校 栄子様
中神杏奈様
西浦工芸 代表 鈴木敏道様
原田みゆき様
ヒマワリ会 代表 水野ノリ子様
平岩夏居様
本田理容様
ヘアーサロンウカイ様
吉本佳司様
吉下雅裕様
松原由美子様
花王株式会社様
アイホー工業株式会社様
平松工業株式会社様
福益工業所有限会社様

だよ
「くすのき便り」

ぜっさん こうしんちゅう
絶賛！更新中！

各事業所の
“あんなこと～こんなこと～”
また法人行事など、
継っていきたいと思います。

<http://blog.canpan.info/kusu/>

法人のホームページからでも、ご賜いただけます。



広報くすのき (年2回発行)

■発行元
〒443-0013

愛知県蒲郡市大塚町後広畠85番地1
TEL (0533) 59-7221
社会福祉法人 くすの木福祉事業会
<http://www16.ocn.ne.jp/~kusui/>

くすの木福祉事業会 | 検索

■ 結集行言
昨年は、当事業会でも大きく変化した年であった。
新しい年を迎えてまた年を重ねる。この年もみんなの幸せを重ねる年であってほしいと願つ。

平成23年11月の時点では
社事業会に集められた工
は累計328、548人
410、7人分になりました
」協力ありがとうございました



わくわくワーク大塚ボランティア



つつじ寮の門から、緑色の三角屋根の新しい建物が目に入ります。その中央にはステンドグラスのシンボルが輝いています。

新体系移行に向けて、県から補助金をいただき、去年の夏から男性棟南側に生活介護棟（134・43戸）を建設し、10月1日から生活介護事業の活動の場として活用しています。具体的には高齢や重度障害の方が、機能訓練や個別支援ができる場として、またマナー教室で利用者が生けた花や絵画教室で描いた絵を飾れるようない工夫を施しました。

大きなホールは「ひまわり」、生活介護室は、「海」「空」と名付け、利用者のびのびとした活動をイメージさせました。



つつじ寮 生活介護棟増築

移行初日の10月1日には、鈴木蒲郡市福祉事務所長をはじめ、関係者の方々にご臨席を賜り、ささやかながら竣工式を行いました。建築工事にて御社様には、理事長から感謝状を贈呈いたしました。

これから、この障害者支援施設「つつじ寮」にご期待下さい。

新事業体系移行 くすの木授産所 改め 「サポートくすの木」

6月4日から6月12日の一週間

JDFの東日本大震災被災地へ派遣に行つてきました。初めて被災地を見たとき言葉がありませんでした。ビルの上に車が載つてたり、線路の上に家があつたりとテレビで見てた以上に酷い有様でした。しかしそれ以上に心に残ったのが、被災された方が心温かく迎えてくれたことです。被災され自分たちも大変なのに、皆さん笑顔で「よう遠いところから来てくれたね。ありがとうございます」と声をかけてくれたのがとても印象に残っています。

あの震災からもうすぐ一年経ちます。まだ被災地では傷跡が多く残っていると思います。少しでも早い復興を心より願っております。



7月29日、法人内にて心肺蘇生法及びAED講習会が開催されました。参加者は3施設の職員及びケアホームの世話人で、計60名が参加しました。

講師は、日本赤十字社で救急法のインストラクターとして活動している法人内の職員です。日本赤十字社や消防署、学校等で救急法を受講しても、月日が経つと忘れがちになります。講習だけでも留まらず、訓練の場数をこなし、敏捷に対応できるようにしていきたいです。

7月29日、法人内にて心肺蘇生法及びAED講習会が開催されました。参加者は3施設の職員及びケアホームの世話人で、計60名が参加しました。

10月10日体育の日、豊川市御津町体育館にて、三施設合同レクリエーションを行いました。

フラオカブアノホマーリエ

という団体にボランティアでダンスの披露をお願いしましたところ、快く引き受けた下さり、フ

ラダンスショーを行いました。奇麗な衣装とダンスに魅了できた様子でした。

レクタイム1部では、ハラウ

11月5日、恒例の「地域交流くすの木まつり」が開催されました。前日の準備は万全！

（？）。しかし当日は…いつ降り出

すのかと心配される中、最後まで

雨粒を見ることがなく閉会すること

ができました。今回も、財明石会

様、蒲郡マリンライオンズクラブ

様から寄付金を頂戴した他、多く

のボランティアさんの助けを借り、

大勢の来場者で賑わい、事業会の

大きなイベントは無事終了！また、

来年もお楽しみに。

福 祉 ま つ り



新事業体系移行 くすの木授産所 改め 「サポートくすの木」

去る昭和60年4月、元愛知県厚生事業団「海の家」廃園のあとを受け、法人で一番目の施設となる知的障害者授産施設（通所）「くすの木授産所」が定員30名で開所しました。

それから26年半、皆様から愛され、慣れ親しんだ「くすの木授産所」が、平成23年10月1日、障害者自立支援法に基づく新事業体系移行を機に「サポートくすの木」へと事業所名を変更いたしました。

長い歴史の中、施設において「訓練」「指導」という言葉が使われていた時期もありましたが、今は「利用者主体」を第一に考え、施設として職員の使命はまさに、障害者を「サポート」することであるという考え方から、事業所名に「サポート」を付けることにしました。

さて、くすの木授産所として開所してからこの間、昭和63年に定員を40名とし、平成9年には建物を全面改築し、平成16年は定員を50名としました。

そして、平成18年に障害者自立支援法が施行され、周囲の施設が次々と新事業体系に移行していくのを横目で見ながら、新たな事業種とその内容についての検討を続け、満を持してこの度

事業所には、様々な方が通り、サービスを利用してしています。就労を目指し、色々な技術や働く力を身に付けることを目標とする方もいれば、基本的な生活習慣を身に付け、まずは事業所に通うことから、という方もみえます。

そのような利用者一人ひとりの能力や特性、課題に合わせて、全力で「サポート」させていただこうことをスローガンにスタッフ一同、邁進する所存でありますので、皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

「理学療法指導」
7月から毎月1～2回、理学療法士に来寮していただいています。日中活動の中で、今まで出来なかつた機能訓練や歩行訓練などの指導を受けています。歩行の不安定な方の転倒事故防止につながればと、補装具や靴などの相談もしています。

今後も、理学療法士によるアドバイスを活かして、健健康で安全に過ごしていく事が出来たらと思つています。

日中活動紹介

「喫茶店へ行こう」
「喫茶店へ行こう」とは、その名の通り、「喫茶店へ行く」のです。ボランティア「つくしんぼ」様のご協力のもと毎月2回実施し、近くの喫茶店へ行つて日頃の疲れを癒しながら仲間との楽しいひと時を過ごします。程よい距離を、季節を感じながら喫茶店へ向かいます。

また、つつじ寮にはいない若いケメンの理学療法士さんのせいか、指導を受けている利用者の顔に、普段ではなかなか見ることのできない笑みが見られます。

今後も、理学療法士によるアドバイスを活かして、健健康で安全に過ごしていく事が出来たらと思つています。

「マジックショーがやってきた！」
12月、つつじ寮・わくわくワーク大塚に渡邊坂司さん平出暁さんがマジックを披露してくださいました。趣向を凝らしたマジックの数々は、今年も利用者のみなさんにとつて良いクリスマスプレゼントになりました。

「日産労連 招待の劇団四季ミニユージカル」
つつじ寮より、あの劇団四季によるクリスマスチャリティー公演ミニユージカルのご招待をいただきました。今年の公演は「はだかの王様」です。劇団四季のミニユージカルはさすがに庄重！

「自主製品班」
10月から、紙書き班と石鹼班は2階作業室に統合し、同じ場所で作業を行っています。職員が利用者個々の作業適性を見極め、新しい作業を始めたたり、集中して作業が出来るように支援しています。

「あやまのゆく親子旅行
～登神温泉と信州りんご狩り～

11月24日(木) 25日(金)

1日目 昼食バイキング→伊那谷道中見学
おんせん・久きがい→ホテルで温泉と宴会

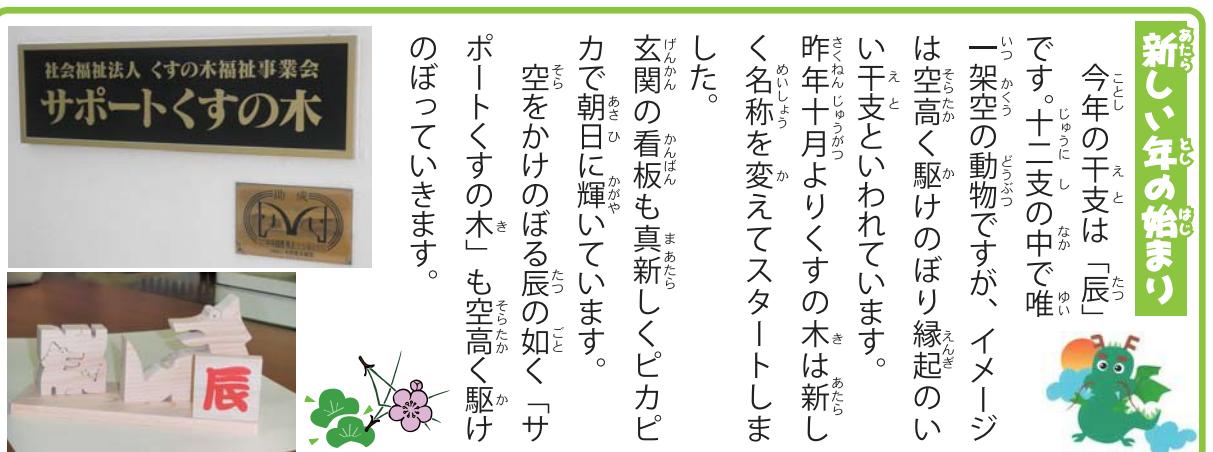
2日目 お菓子の里飯田城で買い物→りんご狩り

3日目 大合唱



いせしまむら 伊勢志摩スペイン村 おやこいっぱくりょこう 親子一泊旅行

がつ にち にちいせしまで
9月16日～17日伊勢志摩へ出かけてきました。
たいふうせっきん しんぱい あめ え がお
台風接近のため心配していた雨も、みんなの笑顔ではねのけて
たの ふつかかん
楽しい二日間になりました。



元気の散歩風景

が元気班の第一の目的であると
かんが
考えます。



それが『元気班』です。
従来、作業に追われる中、どう
しても支援の手が届きにくかつ
た利用者に対し、新たな活動グ
ループを設け、時間と支援員を
確保することで個別の支援が可
能となりました。

現在は利用者4名と職員2名
で午後から散歩を行っています。
サポートくすの木周辺の堤防沿
いをのんびりと歩いていると、
潮の香りや風、花や草木に季節
の変化を感じたり、すれ違つ
近隣の方々との挨拶や
おしゃべりを通じて
心の触れ合いを感じ

じたりなど、新鮮な体験ができます。
今はまだ、散歩が中止になりますが、来年度にかけてさらに充実した活動内容を計画しています。例えば、雨の日などでも行える室内運動であったり、園芸やさまざまな創作活動も行っていきたいと考えています。

元気班の利用者ひとりひとりが作業以外の活動を通して、楽しみや生きがいのある生活を送るお手伝いができるれば、

どよう 土曜タイムでダンス教室を開催しました!

10月15日(土)

生活介護棟ができたので何か楽しい活動をと思い、社協さんからご紹介いただき今回ダンス教室を開催しました。「キャンプだホイ！」などなじみのある曲など歌って踊って楽しい1時間を過ごす事が出来ました。

市川先生はじめボランティアの皆様ありがとうございました。

市川先生はじめボランティアの皆様ありがとうございました。

はん **しいたけ班**

9月よりしいたけの収穫が始まり、今年もたくさん販売しています。

ほうせいはん **縫製班**

牛乳パックを使用したスツール各種と風邪・花粉の季節です。大人用、子ども用のマスクを販売しています。

せいかん **製菓班**

焼きドーナツ始めました。バザーでは大人気です。クッキー等、菓子折りも作っています。

相樂俱樂部

11月3日に寿宝会一晃に地域清掃奉公をしてきました。たくさんの車椅子がきれいになりました。

**地
域
清
掃
奉
仕
活
動**

わくわく大塚

おおつか

なんばグランド花月

「カラオケ何うたあうかなぁ～」

「麗しの2ショット♪」

バス車内風景

一泊社会見学

平成23年9月16日(金)17日(土)

大阪に行つて、笑って来ました～

「大好きなお母さんとカンパ～イ！」

「早く食べたいな～所長さんゴメンナサイ…」

「おおさかやまとやほんてん 大阪大和屋本店 ★宴会風景★」

「おおさかぞうへいきょく 大阪造幣局」